

Topic 1 展示場の新ブランド「MOPAQ」を開始

モバイルスペースをもっと身近に体感・体験いただけるように、全国にある展示場のリニューアルを進めております。自然と触れ合い、人々の心や暮らしを豊かにできる「公園」のような展示場として、だれもが気軽に立ち寄り、滞在できる場所を目指して「MOBILE SPACE」に「PARK(公園)」を組み合わせた新しい展示場ブランド「MOPAQ(モパック)」が誕生しました。

「MOPAQ」の「Q」は、「問い=Question」を表しています。働き方や暮らし方の選択肢が増えた今、自分らしく豊かに生きるために、自分と向き合い、他人と交わる場を社会に提供したいという想いと、三協フロンテアがよりよい製品やサービスを創り出すために問いつづけたという想いを込めています。

「MOPAQ」へのリニューアルに伴い、親しみやすいしつらえになり、年代や性別問わず来場者数が増加するとともに、ご利用用途が大きく広がりました。従来は建設業や製造業を中心に事務所や倉庫として購入される傾向がありましたが、リニューアル後はサービス業、小売業、飲食業など様々な業種の方に、多様な用途でお求めいただくことが増えています。また展示品をレンタルスペースとしてお貸し出ししておりますが、こちらでもカルチャー教室、YouTubeの撮影など様々にご利用頂いております。

今後もお客様のニーズを取り入れながら顧客層の拡大を目指すとともに、将来的には「MOPAQ」を活用して地域に根差したイベントを開催し、地域社会の賑わい創出にも取り組んでまいります。



ロゴに込めた想い

様々な問い=Qをつづけることで、未来への可能性が広がっていく様子を表現したシンボルマーク。親しみやすさと、すくすくと育っていくイメージを感じさせる、若葉のような明るいグリーンを採用しています。



MOPAQ 場内風景



岐阜総合展示場：クラシックダンス教室で利用



千葉総合展示場：スポーツ観戦で利用

Topic 2 MS LABの運用開始

昨年度、自社施設MS CAMPAS(エムエス・キャンパス)内にMS LAB(エムエス・ラボ)が完成し、本社機能のサテライトオフィスとして運用がスタートしました。MS LABにはSECIモデルと呼ばれる「組織学習理論」をテーマとした、学びや成長に繋がる行動や状況を誘発させる環境を作り出す、様々な機能を持った空間が備えられています。

執務エリアは、自由にレイアウト変更できる稼働デスクの採用やデスク間にミニテーブルやスツールを置くとともに、ホワイトボードも多く配置するなど、共同化を促す仕掛けを設けています。

他にも、可動式のオリジナルモジュール家具により様々なスタイルの会議が実施できる「タウンホール」、壁だけではなく天井・床を含めてホワイトボードで構成し、自由な発想のディスカッションを促す「ホワイトルーム」、実際にレゴブロックを使って手を動かしながら考える「トイレーム」、オンライン会議に対応した「パーソナルブース」、さらにはマインドフルネスをテーマにした「瞑想室」など、コミュニケーションと内省を繰り返すことができる、多様な空間でつくられています。社員自らが考え体感することで、多くの学びを得ながら働いています。

MS LABでは、ハード面における「工業化」もテーマとしており、ラウンジエリアや各ミーティングスペースで使用する家具もモバイルスペースのモジュールに合わせて設計するなど、当社独自の工夫を加えています。また、例えば間仕切りの防音性が低いという課題があれば、防音試験を実物で行い、改良した仕様に変更して入れ替えると同時に、そこで得た知見を実際の製品改良に結びつけることができる、最適な空間となっております。

自分たちの製品の中で働き、感じたことをフィードバックして製品開発へ反映させる、このクイックな活動を通し、より良い製品を提供していきたいと考えております。



MS CAMPAS 外観



執務エリア



瞑想室

トイレーム

ホワイトルーム



タウンホール